

# 第22回 地域の声委員会の概要について

平成23年8月11日に開催した地域の声委員会では、東北地方太平洋沖地震後に皆さまからいただいた多くの声について、しっかりと分析するとともに、今後の発電所の運営に反映できるよう検討しました。

引き続き、皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、安全を最優先に地震や津波への対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

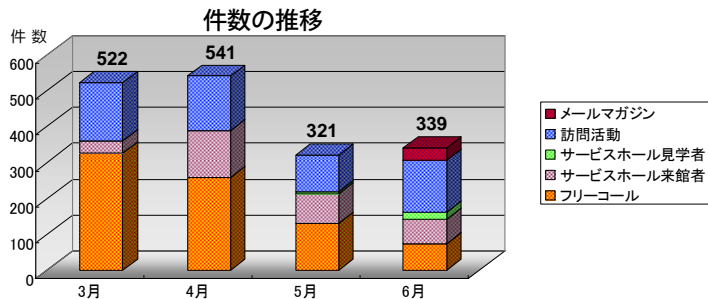
**東京電力**

柏崎刈羽原子力発電所

# 地域の皆さまをはじめ、1,723件の“声”をいただきました

(震災発生～平成23年6月)

これまでも地域の方々からいただいた声を分析してきましたが、3月11日の東北地方太平洋沖地震以降、発電所に一般の方からの電話をはじめ、地域訪問活動やPR施設、メールマガジンのアンケートなどから、多くの厳しいご意見・ご要望をいただきました。



## 【いただいた声の分類】

- 福島の状態について : 201件 (約11%)
- 放射線関連について : 190件 (約11%)
- 広報活動について : 232件 (約13%)
- 地震・津波対策について : 232件 (約13%)
- その他お叱りの声 : 35件 (約2%) など

## 【いただいた主な声】

- 福島の事故で不安を感じている。柏崎の地域の方もきっと不安だと思います。早く収束してください。
- 富岡町から避難しているが、母の健康状態が優れず貯金も底をついてきた。賠償をしっかりと行い、できるだけ早く帰れるようにして欲しい。
- 福島の放射線量が今どうなっていて、大丈夫なのか、避難の基準など、放射線に関する説明をしっかりとしてもらいたい。
- 住民目線で物事を考えて欲しい。そうすれば周知・情報発信の仕方が変わってくるのではないかな。
- 原子力の賛否はどちらとも思っていないが、電気が足りないと工場もストップするし、家庭の生活も不便になってしまう。
- 地元に住む者としては、やはり安全が最大の関心。万全の安全対策をしてください。

## 【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、下記のような点などについて取り組んでまいります。

- 福島の事故収束に向けた進捗状況や、当発電所の地震・津波対策等については、引き続き、ニュースアトムやホームページなどを通じて、随時お伝えしてまいります。
- 当発電所では、既に実施済みの津波に対する電源車などの緊急安全対策に加えて、安全上重要な施設に浸水させないための防潮堤や防潮壁の設置準備を進めてまいります。
- 皆さまからいただいたご意見・ご要望については、発電所内だけでなく、本店にも情報共有することで、今後の事故収束に向けた取り組みや広報活動に活かせるよう努めてまいります。

今後も皆さまからいただいた声をしっかりと業務や発電所運営に反映するとともに、引き続き、安全・安定運転に努めてまいります。